



ヨゼフ アバイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 山元眞
カトリック福岡司教区
編集人 山元眞
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

7月の意向

【教皇様の意向のために祈りましょう】
【日本の教会】 社会的孤立の予防
【教皇の意向】 高齢者

教皇フランシスコ

16回目のシノドス（世界代表司教会議）に

全信者参加の呼びかけ

広報委員会 委員長 山元眞 神父

教皇フランシスコは、2023年10月にバチカンで開催されるシノドス（世界代表司教会議）にその準備段階から世界中の信者が参加するよう呼びかけている。
1962年に第二バチカン公会議が開催されてから60年。公会議後、教皇聖パウロ6世は世界の司教代表が集まる会議「世界代表司教会議」（シノドス）を提唱。1967年に第1回のシノドスが開催された。
16回目となる今回のシノドスの準備は昨年10月10日からすでに始まっている。



1958年、アンジェロ・ロンカッリ枢機卿がローマ教

（アジオルナメント）。ヨハネ23世教皇は開催の翌

年帰天したが、イエス・キリストの福音を世界に伝えるために「開かれた教会」になることを目指した公会議はパウロ6世に引き継がれ、毎年秋の4会期を経て1965年に閉会した。第二バチカン公会議は約2000年のカトリック教会の歴史上21回目。100年に一度開かれたことになる。その公会議終了から60年が経とうとしている。

教会は様々な課題や問題に直面してきた。世界により開かれた、神が望まれる教会に成長していくために、1967年教皇パウロ6世は世界の司教たちの代表による世界代表司教会議を開催。この会議は「シノドス」と呼ばれ、その原意はギリシャ語で「ともに歩む」。

2023年10月に「シノドス（世界代表司教会議）」がローマで開催されるが、今回のシノドスは16回目。公会議が100年に一度の割合で開催されたのに対し、シノドスは50年に15回開催されたことになる。これだけを見て時代の変化の勢いを感じさせるし、教会がいかに時代の要請に応えようとしてきたかがわかる。

現教皇フランシスコは今回のシノドス開催に向けて、2年の長い準備期間を設けた。これまでのシノドスも全信者が「共に歩む」ことを目指し、開催にあたっては広く信者の意見や思いを聴きながら準備されてきたが、第二バチカン公会議の精神やシノドスの目指すところが不十分であったことは否めない。実際、この50年の間に15回も開かれてきたが、「シノドス」の意味と開催のプロセスはほとんど信者に浸透していない。シノドスのまとめとして教皇は「使徒的勧告」（たとえば『福音のよろこび』『ラウダート・シ』など）という文書を全世界に向けて送っているが、まだよく知られていない。

教皇フランシスコはこの現状を直視し、今回のシノドスのテーマを原点に帰って「ともに歩む教会のため」交わり、参加、そして宣教とした。教皇は2023年の第16回シノドスに向けて、その準備の段階で世界中の教会のすべての信者、つまり、信徒、修道者、司祭、司教とともに歩むことを求めた。昨年10月10日にローマ・バチカンの聖ペトロ大聖堂で開会ミサを行い、翌週の10月17日には全世界の教会で「シノドス開幕ミ

時の話題

キリストのみことばに ユーモアを見出そう

世界中がウィズコロナになり、教会も同じように悩み苦しむようになって久しい。人と会い、関わりをもつことを通じて神の愛を実感し、互いに助け合う生活をめざすことが厳しい状況にもかかわらず、アベイヤ司教のリーダーシップのもと、信徒の協力によって福岡教区の「宣教司牧方針—キリストの愛に駆り立てられて、人々と共に

歩む教会」が定められた。このような方針の中で、ここに響いたことについて私の想いを記したい。
「みことばを黙想し分かち合う」という、かつての黙想会の指導において、「イエスとの個人的な親密さ」を求めて祈るように言われた。イエスの人間的な側面に触れる。心の中に分け入ってみる。イエスは極めて人間的で、人々からのけ者にされた人にやさしく、食事を共にするなど、また大酒のみであったとも言われる。福音書の中に笑いの記述が見当たらないからといって、イエスが笑われなかったとは言えない。
唐突であるが、リチャード・コート神父の『笑いの神学』

（聖母文庫）から神（キリスト）のユーモアについて引用する。
「神のユーモアは『あと知恵』によってわかる。いくらか一緒に歩いてから、復活した主に気がついたエマオの弟子と同じように、一般に遅れてやってくる」（ルカ24章13〜35節参照）
知らないふりをしてご自身の受難、そして死の顛末を弟子から聞かれています。そのイエスは、必死に笑いを抑えながら、弟子の説明を聞いておられたのではないのか。そして、究極のユーモアのセンスを持っておられた方ではないかと想像するのである。
古賀教会 内野順雄

サ」が行われ、福岡教区でもカテドラル大名町教会でアベイヤ司教による「シノドス開幕ミサ」がささげられた。今回のシノドスはすでに始まっている。

福岡教区は今年4月に宣教司牧方針を公表したが、これは2年に渡る準備の末にできたもの。「キリストの愛に駆り立てられて、人々と共に歩む教会」という方針は教区内

の全信者に呼びかけられてきた。方針の目指すところは「神の望まれる教会になる」こと。この二年間の教区の歩みは、2023年の第16回ローマ・シノドスの準備になっている。

残り一年あまりの準備期間に、すでに公表されているアベイヤ司教の文書や講話を教区報やホームページで何度も確認することが求められる。

森山信三被選司教

福岡教区司祭団に語る

第1回司祭集会 報告

佐賀教会・主任 牧山美好 神父



5月24日（火）、大名町教会で今年度第1回福岡教区司祭集会がおこなわれた。今回は大分教区司教に任命された森山信三被選司教が講話をおこなった。

森山被選司教は2020年4月よりカトリック中央協議会で働き、2021年4月から事務局長をつとめた。その経験から、日本カトリック司教協議会の常設機関につい

て、また中央協議会が組織としてかかえている課題について語った。
日本の各教区の昨今の実情として、中央協議会に司祭を派遣することが難しくなっている。実際、中央協議会に常住している司祭は少ない。現在、各部門各部署に専門的知識をもった信徒が活躍しているが、今後こうした働きが継続されるよう、後継

最近の機械機器やサービスは、ほとんど全自動になってきている上、それを利用するときの便利さときたら本当に驚く。出前サービスも昔は電話で行ったが、今はスマホでも何でも注文できるし、頼んだものが何分後に届くかまで知ることができるよう。段々簡単に、便利に、そして素早くなっている。しかし、その便利さ、素早さの裏にあることまで考える人は多くない。▼誰かに聞いたことがある。例えば市役所での仕事の処理に関し、国別に速度の差が生じる場合があるという。ある国では、市役所で、簡単な仕事をお願いしても返事が来るまで一週間以上かかるという。が、ある国では、すべて全自動化されていて、同じ仕事でも5分で終わる。▼しかし、その誰かはこうも言う。その5分のためにどれほどの人の労力と時間が費やされたか。何の話かというと、その素早い全自動化のため、どれほどの人が努力してそのシステムを作ったかということである。すなわち、「私が便利になる」ために、「ほかの誰かが努力をする」ということである。▼▼便利さ、素早さに慣れてしまった現代人はそれを忘れ、せっかちな姿ばかりを現すときがある。もちろんその素早さ、便利さのために、こちらも代価としてお金などを支払いはした。しかし、全自動化のために努力をする人、思いながら、たまに立ち止まり、ゆっくりと時間を過ごすことも必要ではないだろうか。あまりにも速く、便利になってしまった現代社会の流れに流されず、自分に合うテンポでゆっくり、ゆっくり生活することも悪くないと思う。（J）



～ 聖書週間から聖書習慣へ ～



今号では、聖書による養成「イエスと共に食卓を囲む」(大名町・光丘教会)を紹介します。

聖書による養成 「イエスと共に食卓を囲む」 大名町教会の部

毎年11月、聖書に親しみ、聖書をより正しく理解するための運動として「聖書週間」が定められています。聖書に「より強い関心を持ち、親しみ、神の心に生きる」ようになるためにも、年に一回の機会だけでなく、常に「聖書習慣」を身に付けることを実践したいものです。

長年働いて退職し聖書勉強の時間ができた人、子育てを終えて出かけやすくなった人、キリスト教に関心はあるが教会を訪れる機会がなかった人… そのような人々が、教区の信徒養成担当のレナト・フィリピーニ神父様が赴任早々始められた「聖書による養成『イエスと共に食卓を囲む』」の講座に集まっています。大名町教会は交通の便が良く、多くの小教区から信者・未信者を問わず、毎週火曜日午前の部(10:00～11:30)と夜の部(19:00～20:30)に合わせて約60人が、イエス様の教えを求めて訪れています。講座の終わりには神父様のお話をかみしめ、座席近くの4、5人と分かち合いを行います。

聖書にはイエス様が人々と食事をする場面が多く出てきます。食事の相手は、律法に固執し自分中心で人を裁くファリサイ派の人や、嫌われ、罪人扱いされている徴税人でした。イエス様はあえてこの人々と食事をする事で、何を伝えようとされているのか、多くのことに気づかされました。

イエス様がファリサイ派のシモンと食卓にお着きになると、罪深い女がやってきました(ルカ7章36～50)。イエス様はこの女の罪を赦されたのです。イエス様は女が来るのを待っておられました。私たちも「ゆるしの秘跡」で罪を告白し赦されるのではなく、神さまが先に私たちを赦されているのです。そのとき司祭から求められる祈りは、罪の償いではなく感謝の祈りだと教えていただきました。



今日のみことばを分かち合っ

毎回、レナト神父様の熱い言葉を聞くと、神さまの私たちへの愛が身に染みてわかり、感謝に満たされます。「食卓を囲む」頂点は「最後の晩餐」の記念であるミサです。

講座はまだ続きます。「目からうろこ」になる講座に、ぜひご参加ください。
大名町教会 谷口純子

④祭儀行事費は、コロナ禍のために、まだ出費は少ない現状です。

⑤指定献金の中で、「福岡教区被災者支援」献金をお願いしています。コロナ禍で困難の中にある人に対していくばくかの支援ができましたが、今後、様々な災害に備える必要は大きくなるものと思えますので、ご理解とご協力を今後ともお願いします。

⑥カテドラル献金については、昨年からコロナの影響でミサ中止となりほとんどありませんでしたが、2021年度は67万円でした。

⑦教区本部会計の経常収支の中で、本年度も資産運用収入が入っています。6500万円ほどです。繰越金は約1千万円となっています。

教区を支えてくださる皆さまのご協力に心から感謝をいたします。

宣教養成委員会

【委員長 レナト・フィリピーニ神父】

◇福音宣教の働きを推進し、支える。また、教区の信徒養成のプログラムを準備し、小教区、地区、教区全体に提供する。三つの部門によって構成される。

(1)新福音化部門

変化していく社会と文化の中で福音宣教に新しい姿勢と創造的な取り組みが必要とされ、新しいヴィジョンと試みが求められる。新福音化部門は、これを念頭に置いて、こういう新しい状況に因應される教会を育てるために奉仕する。福音宣

福岡教区常設委員会の紹介 ① 宣教養成委員会

今年度より、福岡教区の常設委員会は5委員会に再編成されました(『福岡教区ハンドブック2022』参照)。

教区報では、その委員会を紹介いたします。第1回は、新設された宣教養成委員会です。

(2)信徒養成部門

教区でプログラムを企画したり、各地区のプログラムを手伝ったり、頼まれれば小教区に出かけたりする。ONLINEの活動にも取り組む。大濠会館での活動を担当する。

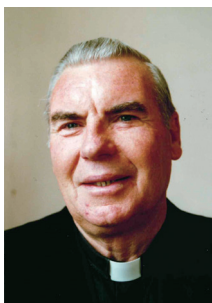
(3)聖体奉仕者・司祭不在の時の主日の集会祭儀の司会の養成部門

典礼委員会と信徒養成部門と協力してそのためのプログラムを準備し、行う。

計 報

シヨーン・コア神父

(聖コロンバン会)
6月8日帰天。享年87。
1934年9月30日アイルランド・ティロン生まれ。



1958年12月司祭叙階。その後日本語を習得し、1961年～2008年まで日本で司牧に従事され、その後アイルランドに帰国。福岡教区では1963年手取教会助任、1964年～1987年は崎津教会主任を務めました。

テレジア 平田 ハルカ 修道女

(マリアの宣教師フランシスコ修道会)
6月9日帰天。享年96。修道生活73年でした。

御心のマリア・ヨセフィナ

平良 邦子 修道女
(女子洗足カメル修道会)
6月12日帰天。享年58。修道生活38年でした。

マリア・ソフィア

藤木 八重子 修道女
(シヨファイユの幼きイエス修道会)
6月18日帰天。享年88。修道生活60年でした。

2021年度会計報告

文責・青木悟神父
(教区本部会計)

2021年度教区本部会計報告が、司教顧問会・教区責任役員会で承認されましたので報告いたします。

①小教区分担金(3581万円)は、昨年より227万円ほど減少しています。最近この傾向が続いています。コロナの影響もあるでしょうが、信徒の高齢化の影響も考えられます。福岡教区のハンドブックに書いてある(8)ように、維持費は家族単位でなく、収入を得ている全ての信徒が納めるようにしてください。よろしく願います。

②教区の司祭養成費を差し引いた宗教活動費は9605万円(内人件費5003万円、管理費3168万円)です。主な収入である分担金

福岡教区 本部会計 2021年度会計報告

科目	R3年度決算	説明
(宗教活動収入)	68,755,109	
【信徒通常献金収入】	177,077	
祝日特別献金	177,077	
【援助金収入】	23,027,417	
神学校援助金(神学校費)	23,027,417	一口300円で集めたお金は、全部本部会計に送金。小神学生・コレジオ・大神学生のための献金です。ちなみに、神学生養成支出は、28,665,669円でした。
【寄付金収入】	7,160,304	
一般寄付金収入	3,004,049	本部関係駐車場献金・大濠会館使用献金・個人献金
指定寄付金収入	3,232,071	目的が指定されている献金、難民移住、召命促進
司祭寄付金収入	924,184	司祭、司教よりの寄付金
【特別献金】指定献金	1,160,091	
広報活動援助献金	1,160,091	購読料、広告料、広報の日献金
【分担金収入】	37,230,220	
小教区分担金収入	35,813,325	教会維持献金とミサ献金の合計の15%を本部へ
租税分担金収入	980,962	小教区消費税、法人税など
その他分担金収入	435,933	福岡教区ハンドブック
(資産運用収入)	1,615,411	
受取利息収入	6,852	
雑収入	1,384,829	書式、印紙、ミサワイン、保存樹斂定補助、など
電柱敷地料収入	142,730	
資産利用料収入	81,000	司教館施設利用献金
経常収入合計	70,370,520	
資産運用より	69,724,477	
収入合計	140,094,997	

2021年度特別献金	献金額
指定献金合計	14,860,586
世界こども助け合いの日	3,491,896
四旬節愛の献金	4,284,089
聖地エルサレム献金	565,378
広報の日献金	818,961
聖ベトロ使徒座献金	1,222,790
世界難民移住賛助者献金	514,544
世界宣教師の日献金	1,144,438
宣教師召命促進の日献金	1,011,689
世界召命祈願の日	64,210
カテドラル献金	1,069,935
臨時指定献金	672,656

本部収支計算書 支出の部	R3年度決算
(宗教活動費)	118,615,977
【宗教活動費】	8,371,456
祭儀行事費	1,117,436
司祭研修費	158,428
委員会活動費	921,231
宣教広報費	3,557,037
教育養成費	13,124
図書資料費	344,591
会議費	582,609
諸会費	17,000
寄付金支出	1,660,000
【その他の宗教活動費】	18,797,600
中央協議会納付金支出(諸団体)	1,620,000
教皇庁分担金支出(諸団体)	357,600
大神学院分担金	16,820,000
【司祭養成】	5,741,252
司祭養成費	5,741,252
【助成金支出】	3,985,535
小教区助成金支出	3,985,535
【管理運営費】	31,682,352
消耗品費	883,971
通信費	906,733
旅費交通費	1,703,028
自動車諸費	646,464
水道光熱費	2,373,674
交際接待費	357,480
修理費	72,000
営繕費	10,873,605
賃賃料	2,682,077
報酬委託手数料	5,789,825
租税公課	1,506,655
損害保険料	3,625,210
雑費	261,630
【人件費】	50,037,782
司祭給与	19,925,000
職員給与	24,042,999
法定福利費	5,475,501
福利厚生費	594,282
(繰入金支出)	720,000
小教区会計繰入金支出	720,000
経常支出合計	119,335,977
司教館積立金支出	10,000,000
次期繰越金	10,759,020
支出合計	140,094,997

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は

メモリードール

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店

福岡メモリードール(株)
0120-45-1616

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- R/C工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は

メモリードール

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店

福岡メモリードール(株)
0120-45-1616

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

知りたい！
福岡教区内の
修道会
宣教会④

福岡教区には現在 30 の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。
今春より紹介している、その修道会や宣教会。
第4回は、ショファイユの幼きイエズス修道会です。

ショファイユの
幼きイエズス修道会

私たちは、修道会の名前が示しているように、幼子（おさなご）となられた神の愛の不思議さ（秘跡）を示すようにと招かれて、病院や児童養護施設、学校や幼稚園、保育園等で奉仕している修道会です。

最近、新聞紙上で「餓死 5 歳の母日記『ごめんね』初公判」の見出しを読み、「え！また子どもが被害に！」と身が縮みました。時代が変わり、生活環境や習慣が変化していく中で、被害者の多くが子どもへ移行しているといっても過言ではないでしょう。

最初に渡日した 4 修道女



前左：Sr. ベルナルディン 右：Sr. ジュスチン
後左：Sr. ポルジア 右：Sr. センテリー

ながら事業体の基礎づくりに励み、私たちに手渡してくださいました。現在、熊本と久留米に児童養護施設と学校、熊本に病院と保育園があります。

次に、修道会全体を眺め、4 つのタイプの組織を紹介します。

- ・日本管区：アジアの 3 か国に分布（日本、カンボジア、ベトナム）
- ・ドミニカ共同体地区
- ・カナダ管区
- ・（総顧問会直属）：フランス、チャド、ハイチ、フランス語圏に散在する共同体

どの国や地域においても一番の犠牲者は子どもたちです。イエス・キリストが一番愛される子どもたちを守るために、日々低く降りていくことに目覚め、子どもたちの中に幼きイエスの姿を見て励まされながら、一日一日をともに過ごして生きたいと思います。

熊本県・西合志修道院 院長 Sr. 中室アヤ子

6 月 4 日（土）、福岡地区カトリック女性の会総会が大名町教会大聖堂で行われた。「福岡地区カトリック女性の会」とはと問われた時、どう答えるだろうか？
本会は、福岡教区長アベイヤ司教のもと、担当司祭としてレナト神父を頂き、福岡地区 14 小教区の全女性信徒を会員とし、各小教区の代表委員が会員の支えの元に活動している。また、日本カトリック女性団体連盟・世界カトリック女性団体連盟と繋がるまさに地球家族の一員として、社会に地球家族の一員として、社会に教会に祈りと行いを持つて貢献することを目的としている。



今期の女性の会・委員の皆さん

コロナ禍、過去 2 年間は稟議総会であったが、今回は対面での総会が実施でき、委員や会員の喜びはひとしおであった。感染症対策として総会も広い大聖堂で行い、100 名近く収容できる席

は、ほぼ満席で感謝しかない。総会は、昨年度の活動・会計報告、今年度の活動計画・予算案などの審議を経て、ボランティア・モニタのコロナ禍での報告や日力連（茨城総会に川原圭子会長・大口都志美副会長兼日力連理事が出席）の報告。その他、会員から「ミリア・とも生き会」や、長崎大村入国管理センターの収容者の方の近況報告などがなされた。



多くの見学者が訪れたパネル展

「宣教師アルメイダ パネル展」開催
道なき道を辿って 菊池教会 松本隆子
1552 年、今から 470 年前、修道士ルイス・デ・アルメイダをはじめ、宣教師たちが日本での布教を始め、それが豊後・大分の病院や乳児院、また社会福祉へと貢献しました。またアルメイダは宣教師として九州各地で布教活動を行い、神の国の実現のために一生を捧げられました。その間、世の中は大変厳しさを増す時代となりました。キリシタンにとっても、

多くの見学者が訪れたパネル展
宣教師アルメイダの足跡を、今日の時代の継承者として広く現代に伝える使命が私たちにあるのではないのでしょうか。この先、私たちがどのような世界が待ち受けているかは神様にしかわからないことではあります。しかしやるべき事は、宣教師たちが辿った道なき道への希望と、神のみ国の為に働かれたという事実を

使命を果たしていきたい。（報告）浄水通教会 代表委員 荒川優子
たたく④使命を果たすことであると。本会も、キリストに倣い、

ウクライナ侵攻が始まると、両親の住む地域のライフラングがすべて断られた。両親は屋外での料理を強いられ、友人らと連絡が中断するなど、辛い経験が相次いだという。「両親は高齢で、今さらこんな目に遭うなんてひどい。楽しい老後を過ごしているはずなのに」とカリナさんは心配そうな表情で話す。2014 年に同地方では内戦が起り、その傷跡がまだ癒えないうちにロシア軍が今回の侵攻に踏み切った。そのため、戦争のトラウマを負いながら住み慣れた故郷を離れ脱出するという選択肢しかない人が多いという。



カリナさん

母のイリナさん（66）と父のウラジミールさん（65）にとって、福岡市の日常生活は驚きの連続という。「治安が



右：ウラジミールさん 左：イリナさん

特定非営利活動法人「グローバルライフサポートセンター」（福岡市、山下ゆかり代表理事）は、カリナさんの両親のためにビザ（査証）の手続きや福岡市内の病院紹介などの支援を提供している。

月刊誌「信徒の友」で 2019 年度に連載された「LGBT から学ぶ その多様性に見る神の愛」に 8 本の書き下ろしを加えて書籍化されたもの。「信徒の友」（日本キリスト教出版局）では、これまで「自死」「がん」「精神障害」がテーマの記事が連載され、いずれも書籍化された。今年 3 月に出版された本書も LGBT（性的少数者）当事者の体験と生の声を伝えるながら同時に神の豊かな、そして深い愛を伝えるものとなっている。5 人のカトリック信徒の体験記も含まれている。教皇フランシスコは「その人の性的指向にかかわらず、その尊厳ゆえに尊重し、軽蔑することなく受け入れるべきで、不当な差別、いかなる攻撃や暴力もあってはならず、心を配るべき」と呼びかけており、今、すべてのいのちを大切に、主の福音に沿って歩もうとしている私たち、神の制限のない愛に目を向けさせる格好の書となっている。監修者、編集者のサポートも当事者の生きる力となっていることさえ感じさせる。また巻末の用語解説は丁寧で、本書の理解を助けるのに大いに役立っている。なお、本書は東京、大阪、名古屋教区でも紹介されている。日本キリスト教出版局発行 税込価格 2200 円

福岡司教区内に避難してきたウクライナ夫婦
今年 2 月からのロシアによるウクライナ侵攻以来、カトリック福岡司教区内にも避難者受け入れが広がっている。そのような中、ウクライナ東部ドンバス地方のスラビヤンスク市出身で、現在、日本人の夫や子ども 3 人と福岡市に住んでいるシデンコ・カリナさんの両親が 4 月中旬に福岡市に避難してきた。「とりあえずほっとしたが、不安はすべて消えたわけではない」と複雑な心境を表す娘のカリナさん。

もつてそのように生きる、私もそこを目指し全力を尽くしたい、そう願わずにはいられないのです。
※「宣教師アルメイダ パネル展」は 5 月 1 日～29 日まで
菊池教会内の元菊池聖母幼稚園で開催され、熊日新聞でも取り上げられました。教区ホームページで紹介しています。

BOOK
読み専科

☆LGBTとキリスト教
20 人のストーリー
平良愛香（監修）
LGBTとキリスト教
20 人のストーリー

広告掲載をご希望の方は
下記までお問い合わせください
福岡教区本部事務局 広報部
電話：092-522-4059
メール：cdf-kouhou@nifty.com
※この枠で 1 回（ひと月）5,000 円の献金（目安）をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか
URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

キリスト教書籍・用品
お買い物は 365 日、24 時間 いつでもどうぞ！
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために・・・
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)・日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩 3 分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂 1-14-26 ☎092-721-2032 fax 739-3930

年間目標

キリストの愛に駆り立てられて
人々と共に歩む教会

案内板

会合と催し

7月のこよみ

「福岡教区ハンドブック 2022」お詫びと訂正

・P.56 門司教会
× (主) パウロ杉原寛信 → ○ (主) ペトロ杉原寛信
・P.98 大濠カトリック会館
(加筆) 宣教養成委員会 レナト・フィリピーニ神父
・P.104 福岡教区で奉仕された帰天司祭
6月17日
× フランシスコ山内恵一 → ○ フランシスコ山内恵一
9月10日 N. ロッキー神父 (1999)
× S.S.C. (聖コロンバン会) → ○ P.I.M.E. (ミラノ外国宣教会)
(削除) 11月3日 K. ワイデマール C.Ss.R. (2021)
謹んでお詫びし訂正いたします。

「カトリック新聞」で世界・日本の教会と出会い、つながろう！



「カトリック新聞」は日本のカトリック教会が発行する唯一の週刊全国紙です。教皇メッセージや日本の各地の教会の様子などが週刊で届きます。4週試読もあります。是非ご購読ください。

定期購読のお申し込み、お問い合わせ
カトリック新聞社
TEL 03-5632-4432 FAX 03-5632-7030



福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

平和を祈る集い
「あなたがたに平和があるように」(ヨハネ20章19節)
主催…福岡地区信徒使徒職協議会
共催…社会福音ネットワーク・福岡

日時：8月11日(木・祝)
第1部 10時～12時
第2部 13時30分～15時
第3部 15時30分～16時30分
場所：カトリック大名町教会



＜内容＞
第1部 グループ企画(勉強会・パネル展・祈りの会)
第2部 講演会「平和を求め、追いかめよ」(詩編14:15)
〔講師〕・森山信三司教(大分教区長)
第3部 インターナショナルミサ ※ライブ配信有り
〔主司式〕ヨゼフ・アベイヤ司教(福岡教区長)

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：イエス様のように祈る
日時：7月14日(木) 10時～15時
内容：「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します」(ヨハネ11・41)
指導者：S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
次回：9月8日(木)「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます」(ルカ23・46) ※8月はお休みです
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

【7月】
1日(金) 福者ベトロ岐部司祭と187殉教者
3日(日) 年間第14主日 森山信三司教叙階式・大分教区
5日(火) †F.ハンター(2000年)
7日(木) 常任司教委員会
9日(土) 修道者連盟(大阪)
†A.シアニ(2011年 古賀教会)
10日(日) 年間第15主日 茶山教会司牧訪問
11日(月) 聖ベネディクト修道院長
12日(火) †T.リチャード(2011年 箱崎教会)
13日(水) 聖ボナベントゥラ司教教会博士
14日(木) 福岡教区創立記念日(1927年)
15日(金) 年間第16主日 二日市教会司牧訪問
16日(土) 海の日 佐賀教会献堂式
17日(日) 第1回臨時司教総会(～22日)
18日(月) †P.クレイトン(2011年 本渡教会)
19日(火) 聖マリア(マダラ)
20日(水) †T.ダウド(2008年 手取教会)
21日(木) 年間第17主日 大楠教会司牧訪問
22日(金) 祖父母と高齢者のための世界祈願日
23日(土) 聖ヤコブ使徒
24日(日) 聖マリアの両親 聖ヨアキムと聖アンナ
司祭評議会
25日(月) 笹丘教会・聖アンナのミサ
26日(火) †ユスチノ戸村修(2016年 聖パウロ会福岡修道院)
27日(水) 聖マルタ、聖マリア、聖ラザロ
28日(木) †T.グローガン(2004年 美野島教会)
29日(金) 年間第18主日 水巻教会司牧訪問
【8月】
1日(月) 聖アルフォンソ(リゴリ)司教教会博士
2日(火) 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭
3日(水) 平和旬間・講話とミサ(広島)
4日(木) †ペトロ平田三郎司教(2007)
5日(金) 主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
6日(土) 年間第19主日 黒崎教会司牧訪問
7日(日) †J.P.ラベル(2004) ■ゴシックは司教日程

【日時】7月15日(金) 10時
【場所】高宮教会・小聖堂(問合せ先) ☎090・7

師イエス祈り会

【日時】7月15日(金) 10時
【場所】高宮教会・小聖堂(問合せ先) ☎090・7

福岡カルメル在会

【日時】7月9日(土) 10時
【場所】高宮教会(指導) プラ
ビン神父(カプチン・フランシ
スコ修道会)(問合せ先) ☎0
80・5266・9048 泰

在世フランシスコ会

【日時】7月9日(土) 10時
【場所】高宮教会(指導) プラ
ビン神父(カプチン・フランシ
スコ修道会)(問合せ先) ☎0
80・5266・9048 泰

子どもを亡くした親の会

【日時】8月6日(土) 14時
【場所】サンパウロ福岡宣教会センター3階
*参加費無料(問合せ先) ☎0
90・1162・6395 柴田

震災のための祈りのレレ

【日時】7月11日(月) ミサ6時30分/夕の祈
り16時30分(場所) 大楠教会
問合せ先 ☎070・282
0・9613 Br.阿部(パウロ会)

福岡

【日時】7月15日(金) 10時
【場所】高宮教会・小聖堂(問合せ先) ☎090・7

いつくしみ深い御父を讃え

【日時】8月7日(日)
【場所】笹丘教会
(内容) 御父への祈り・遠山

福岡召命を共に祈る会

【日時】7月19日(火) 13時
【場所】大名町教会・小
分(場所) 大名町教会・小
聖堂、3階会議室(内容) 稲田
伸也神父(福岡コレジオ副院
長) 司式による召命祈願ミサ
と分かち合い(問合せ先) ☎0
92・921・4532 山口

福岡ホスピスの会「がん

【日時】7月23日(土)
【場所】サンパウロ福岡宣教会センター3階
*参加費500円(問合せ先) ☎0
90・1162・6395 柴田

美野島司牧センター

【日時】7月23日(土)
【場所】サンパウロ福岡宣教会センター3階
*参加費500円(問合せ先) ☎0
90・1162・6395 柴田

熊本

【日時】7月11日(月) 9時
【場所】熊本地区召命を共に祈る会
(内容) 熊本地区召命を共に祈る会

【日時】7月11日(月) 9時
【場所】熊本地区召命を共に祈る会
(内容) 熊本地区召命を共に祈る会

熊本

【日時】7月11日(月) 9時
【場所】熊本地区召命を共に祈る会
(内容) 熊本地区召命を共に祈る会

北九州

【日時】7月14日(木) 14時
【場所】小倉教会(内容) ミ
サ(問合せ先) ☎0949・
24・9905 藤井

セコ

【日時】毎週水曜日10時30分
【場所】福岡市南区塩
原4丁目25 高木橋横の日本
家屋(問合せ先) ☎090・
7927・3636 永田

熊本

【日時】7月11日(月) 9時
【場所】熊本地区召命を共に祈る会
(内容) 熊本地区召命を共に祈る会

熊本

【日時】7月11日(月) 9時
【場所】熊本地区召命を共に祈る会
(内容) 熊本地区召命を共に祈る会

Thankful for the Catholic Church in Fukuoka

Edward Crandall (New Jersey, USA)
Sasaoka Catholic Church



Living in Japan is exciting for anyone from another country.

While globalization has ensured that many aspects of life in Japan are similar to those in other countries, Japanese culture, society, and customs are so different that something new and intriguing can be discovered nearly every day. But constant "newness" can be tiring in its own way.

My way of maintaining a connection to something intimately familiar to me - my faith - is attending weekly Mass. Whether I attend Japanese or English language Mass, the readings and rituals are the same as they are all over the world. So for me, I am thankful that weekly Mass is not only an expression of my faith, it is also a way to maintain consistency and balance in my life here in Japan.

I believe that this is yet another way that the Catholic Church serves both God and all the faithful throughout the world.



Sasaoka Catholic Church
(Chuo-ku, Fukuoka city)

編集後記

先日受けた健康診断の問診に「歩く速さは？」というのがありまして。確かに高齢の母と歩く時は、その速さにイライラしますが、スタスタと歩いて行く人に息を切らしてついて行くことも。それぞれの歩幅や体力次第。気持ちによっても変わるでしょう。あらためて私の歩く速さはどのくらい？少し頑張つてスピードを出したり、たまに気遣いゆったりしたり。「シノドス(ともに歩む)」をいつも心に歩けますように。(W)

教区報8月号の発行日について
教区報8月号は8月3日に発送予定ですが、通常より数日遅れての到着となりますが、ご了承ください。なお、9月号は休刊となりますので、8・9月号の集いの掲載申込は7月20日までに広報室にご連絡ください。

福岡教区・広報室からのお願い

皆様のベストショット(風景や季節の植物、動物 etc)や、イラストをお寄せください。趣味で撮影された写真や書き溜めたイラスト(カトリック関係のもの以外でも、景色や似顔絵 etc)など大歓迎! 教区ホームページの「音声説教」の背景写真や、教区報の挿絵、教区内(小教区、修道会、関係各所含む)配布の刊行物などに使用させていただきます。作品は誰でも使用できる「著作権フリー」の素材としてご提供をお願いいたします。送付方法は、広報室へメールに添付いただくか、直接郵送のどちらでも構いません。カトリック福岡教区 広報室(cdf-kouhou@nifty.com) 〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-28 カトリック福岡教区本部事務局 広報部

私たちと一緒に
おはなしましょうか?

10代～40代のみならず
こんな悩みをお持ちでいませんか?
相談は無料です。
必要に応じて専門機関の情報提供もいたします。ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

安心してお話が出来る人
をお探しの方へ。

メール: hanahanahimawari2020@gmail.com
☎: 080-4735-6971 (9:00～21:00)
※対応できないときもあります。
※原則1回30分です。
LINE 右記QRコード
—ぶろじゅくとHana—
ぶろじゅくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している、礼拝会を中心としたグループです。

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く)
10:00～12:00 13:00～16:00